

令和4年度

鳥取県社会教育振興大会兼鳥取県社会教育委員研修会



～境港上空から大山を望む～

©鳥取県

- 日時 令和4年11月2日（水）
午前10時30分から午後3時45分まで
- 場所 境港市民交流センターみなとテラス
- 主催 鳥取県社会教育協議会
- 共催 鳥取県社会教育委員連絡協議会
鳥取県公民館連合会
- 後援 鳥取県教育委員会

令和4年度 鳥取県社会教育振興大会兼鳥取県社会教育委員研修会 開催要項

1 趣旨

全県の社会教育委員をはじめ社会教育関係者が、地域づくりや人づくりに向けた生涯学習・社会教育活動の今後のあり方について考え、ひいては県内の社会教育の充実に資することを目的として開催します。

新型コロナウイルス感染症が収束しない中、ICTの活用をはじめ「with コロナ」で実施可能な社会教育の方向性を模索し、実行していきたいと考えます。

2 主催 鳥取県社会教育協議会

3 共催 鳥取県社会教育委員連絡協議会、鳥取県公民館連合会

4 後援 鳥取県教育委員会

5 日時 令和4年11月2日(水) 10:30~15:45

6 会場 境港市民交流センターみなとテラス(境港市上道町3000)

7 開催方式

対面での開催とともに講演・社会教育委員研修会・各分科会をZOOMでライブ配信します。

(1) 講演・社会教育委員研修会・第1分科会

<https://us02web.zoom.us/j/87906628722?pwd=MGFpMi80c3VjMGhUazFoWU0xMWtUT09>

ミーティングID: 879 0662 8722、パスコード: shakai1

(2) 第2分科会

<https://zoom.us/j/95435449382?pwd=ZlpFcThnN3JuM29udUdsRG0wajJOQT09>

ミーティングID: 954 3544 9382、パスコード: shakai2

(3) 第3分科会

<https://us02web.zoom.us/j/82672499513?pwd=UjZnVnFGWnhJVU5rR2JZTjAwS1JJUT09>

ミーティングID: 826 7249 9513

パスコード: shakai3

8 対象 社会教育委員、公民館職員、教育委員会事務局職員、生涯学習・社会教育関係者、学校教育関係者等

9 日程

(1) タイムテーブル

時間	内容等			
09:30~	受付			エントランスホール ○掲示発表 ・鳥取市 ・米子市 ・岩美町 ・三朝町 ・湯梨浜町 ・南部町 ・日南町 ・鳥取県高等学校 PTA連合会
10:30	開会			
10:40 ~ 11:40	講演 演題 「みんなが主役の〈社会〉をつくる—社会教育関係者の挑戦が子どもや住民を勇気づけ、新たな社会をつくる—」 講師 東京大学大学院教育学研究科 教授 牧野 篤 氏 場所 市民ホール			
11:45 ~ 13:45	昼休憩			
13:45 ~ 15:10	市民ホール ○社会教育委員研修会(13:45~14:45) 講師 東京大学教授 牧野 篤 氏 内容「行動する社会教育委員」 ○第1分科会 ・境港市 (14:50~15:10)	大会議室 ○第2分科会 ・若桜町 (13:45~14:05) ・日野町 (14:15~14:35) ・鳥取県 PTA 協議会 (14:50~15:10)	中会議室 ○第3分科会 ・八頭町 (13:45~14:05) ・北栄町 (14:15~14:35) ・伯耆町 (14:50~15:10)	
15:25 ~ 15:45	閉会行事			

(2) 各分科会の演題及び発表者

第1分科会	第2分科会	第3分科会
○境港市 ・みなとテラスを活かしたまちづくり ・境港市教育委員会事務局 生涯学習課 平松俊介 氏	○若桜町 ・タッグで取り組む青少年の健全育成 ・若桜町公民館 河本真志 氏	○八頭町 ・コロナ禍における八頭町の社会教育 ・八頭町教育委員会事務局 社会教育課 尾崎俊 氏
	○日野町 ・町の魅力を生かした公民館活動を目指して ・日野町公民館 神庭賢一 氏	○北栄町 ・コロナに負けない！新しい事業のカタチ ・北栄町教育委員会事務局 生涯学習課 宍戸史歩 氏・宮川怜偉 氏
	○鳥取県PTA協議会 ・コロナ禍だからこそ見えてきたこと。そして大事にしたいこと ・会長 松岡智也 氏	○伯耆町 ・伯耆町放課後子供教室の取組～安全・安心な居場所づくりと心豊かなたくましい子供たちの育成～ ・CSディレクター兼統括コーディネーター 伊藤静也 氏

(3) 掲示発表の演題及び発表者

○鳥取市 ・若者の発想を取り入れた新しいまちづくり ・鳥取市美保南地区公民館	○三朝町 ・自然は無限のテーマパーク ～野外活動を通じた体験活動&世代間交流～ ・NPO 法人里山地域研究会	○米子市 ・米子市における新しい社会教育の試み ・米子市教育委員会事務局 学校教育課・生涯学習課、米子市社会教育委員
○岩美町 ・岩美町青少年育成協議会の活動紹介 ・岩美町青少年育成協議会	○湯梨浜町 ・湯梨浜町における学生ボランティア育成の取組 ・青少年育成湯梨浜町民会議	○南部町 ・町を飛び出す高校生！青年団！ ・南部町教育委員会事務局人権・社会教育課
○鳥取県高等学校PTA連合会 ・鳥取県高等学校PTA連合会の活動		○日南町 ・日南町の社会教育 ・日南町教育委員会事務局

* 標記会に向けて、順次特設ホームページ（とりネット）上に配布資料を掲載する予定です。

* オンラインで御参加の方は、特設ホームページ (<https://www.pref.tottori.lg.jp/307443.htm>) から資料をダウンロードしてください。

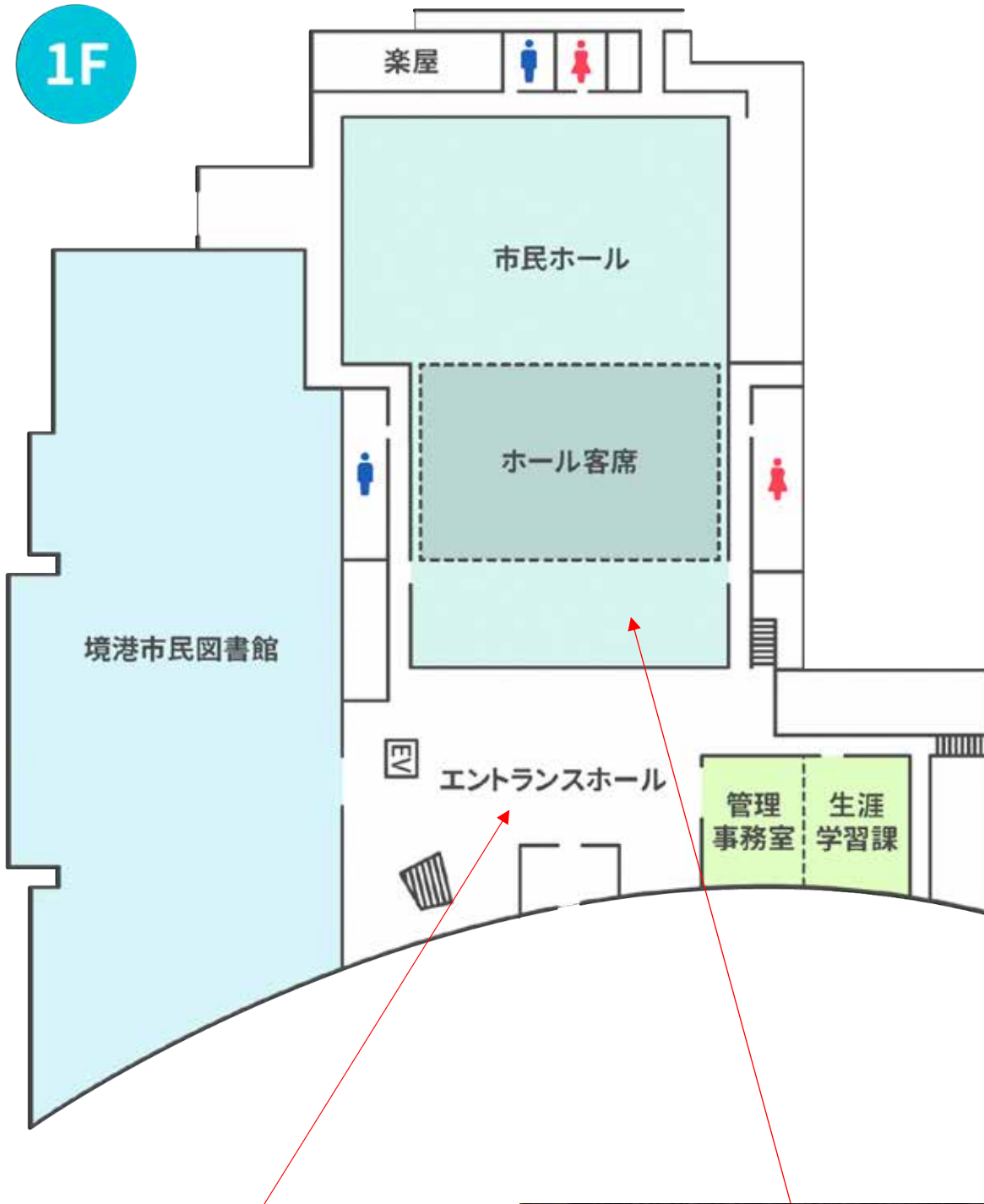
* 特設ホームページは10月中旬までに開設する予定です。

10 お問い合わせ先

鳥取県社会教育協議会事務局（鳥取県社会教育課）檜垣

電話：0857-26-7931 ファクシミリ：0857-26-8175 電子メール：higakie@pref.tottori.lg.jp

会場案内図



①パネル展示 (エントランスホール)



②講演・委員研修会・第1分科会 (市民ホール)

2F

リハーサル室兼
小会議室

和室

大会議室

中庭

中会議室

カフェ

市民ホール ⑤休養室(急病者用) (和室)

ホール客席

吹き抜け

自治防災課

親子観覧席



⑦第3分科会 (中会議室)



⑥第2分科会 (大会議室)

開会行事 次第

- 1 開 会
- 2 あいさつ
鳥取県社会教育協議会 副会長 稲嶋 敏彦
- 3 来賓祝辞
鳥取県教育委員会 次 長 林 憲彰
- 4 来賓紹介
- 5 閉 会

閉会行事 次第

- 1 開 会
- 2 大会宣言採択
鳥取県社会教育委員連絡協議会 副会長 卜蔵 久子
- 3 あいさつ
鳥取県社会教育委員連絡協議会 会 長 川口 有美子
- 4 諸連絡
- 5 閉 会

会長メッセージ

令和4年度鳥取県社会教育振興大会兼鳥取県社会教育委員研修会に御参加いただきましたこと、心よりお礼申し上げます。

また、本日は大会へ足を運び、皆様と直接お会いすることが叶えられなかったことは残念でありませんが、久方ぶりに参加者同士が実際に顔を合わせて学び合え、併せて会場の様子をオンラインで配信ができる会が開催できましたこと、誠に喜ばしく思います。

また、本日の大会には、御来賓、スタッフを含め対面、オンラインを合わせて200名近い参加者が集われると聞いております。私が申し上げるまでもなく、社会教育は「地域づくり」の根幹です。本日、ご参加の皆様の日々の活動が、持続可能な「地域づくり」に直結しているということだと思えます。

本日講師としてお招きした、「社会教育学」や「生涯学習論」が御専門の東京大学大学院の牧野篤先生の御講義や、市町村、社会教育団体によるこれまでの取組の実践発表、掲示発表を通して、御参加の皆様が多くの学びや気づきを得られ、本県の社会教育の一層の充実に資する大会となることを心より祈念いたしますとともに、御参加の皆様の御健勝と御多幸をお祈り申し上げます。

鳥取県社会教育協議会長（倉吉市教育委員会教育長）小椋 博幸

講師紹介

東京大学大学院教育学研究科 教授

牧野 篤（まきの あつし）様

愛知県生まれ。名古屋大学大学院教育学研究科博士課程修了
博士(教育学)

名古屋大学助教授・教授を経て、2008年より現職

2013年- 20年、東京大学高齢社会総合研究機構副機構長併任

中央教育審議会生涯学習分科会委員・副分科会長

中央教育審議会第4期教育振興基本計画部会委員

農林水産省農村RMO推進研究会アドバイザー

一般財団法人人生100年社会デザイン財団 代表理事



【先生コメント】

専門の研究領域は、社会教育学・生涯学習論で、人が生活の営みを続け、成長していくことに現れるさまざまな事象を通して、社会のあり方を考え、人が幸せに暮らすために何ができるのかを考えること、とくにコミュニティの自律と住民の学習とのかかわりに関心がある。

【主な著作】

『生きることとしての学び- 自生するコミュニティと共変化する人々-』（東京大学出版会、2014）

『社会づくりとしての学び- 信頼を贈りあい、当事者性を復活する運動-』（東京大学出版会、2018）

『公民館はどう語られてきたのか- 小さな社会をたくさんつくる・1』（東京大学出版会、2018）

『公民館をどう実践してゆくのか- 小さな社会をたくさんつくる・2』（東京大学出版会、2019）

『発達する自己の虚構- 教育を可能とする概念をとらえ返す-』（東京大学出版会、2021）など

大会宣言（案）

人口減少、少子高齢化、核家族化とともに地域コミュニティのつながりの希薄化が進展する中、未だ収束しないコロナ禍にあって、アフターコロナの時代を見据え、誰一人取り残さない包摂的社会的実現に向けて、対面による学びと共にICTなど新しい技術の活用による学習機会の充実・発展が引き続き求められています。

私たちは、住民の主体的な地域活動への参画のきっかけとなる学びの場づくりに努め、多様な主体との連携・協働による開かれ、つながる社会教育の実現を一層図るため、次の事項を共通の目標とします。

- 一 社会教育に関係する者として、地域住民の学習と学び直し の場づくりに、失敗を恐れず主体的に挑戦し続け、自らも成長しながら地域における「人づくり」と「つながりづくり」を進め、持続可能な「地域づくり」に貢献します。
- 一 学校と目指すビジョンを共有しながら地域学校協働活動を推進することにより、地域の将来を担う子どもとの学びを通じた地域課題解決への主体的な参画と多世代交流を促し、地域の自立と活性化に取り組みます。
- 一 地域の宝である子どもたちの健やかな成長に資するため、家庭教育に関する学習の機会や情報提供を行うとともに、家庭教育に関わる地域人材の育成や保護者同士のネットワークの構築、相談・助言・訪問・交流の機会など、保護者への伴走支援の充実による家庭教育支援をより一層推進します。

以上、ここに宣言します。

令和4年11月2日

令和4年度鳥取県社会教育振興大会